

名古屋市立大学 SDGs活動レポート (2022年度版)

13 気候変動に
具体的な対策を



NCUサステナビリティ・ワークショップ2022を開催



<p>活動の概要</p>	<p>2022年11月3日にNCUサステナビリティ・ワークショップ2022「食から考える持続可能な都市 名古屋」(名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科曾我幸代研究室主催、名古屋市・名古屋市教育委員会・名古屋市立大学SDGsセンター後援)を開催しました。食は、私たちの生活に欠かすことができません。昨年度、テーマに掲げた防災をはじめ、SDGsのゴールにもある貧困や飢餓、健康、エネルギー、気候変動、生物多様性にも深く関わっています。また、その生産・消費・廃棄に目をむければ、経済や産業構造にも関連することは想像に難くありません。さらにそれには、各地域の文化が反映されています。たとえば、国際理解教育において、食は3F (Food, Festival, Fashion) のひとつとして、文化交流に活用され、多文化共生においては重要な役割を担っています。</p> <p>しかしながら名古屋という都市社会において、生産活動にどう関わっているのか、消費・廃棄活動をサステナビリティの視点から考えられているのか、社会的公正に配慮しているのかと問われれば、多くの人は答えにつまるのではないのでしょうか。実際、私たちの食はグローバルにもまたローカルにも関連し、さまざまな要因でその循環やつながりが止まることもあり得ます。サステナビリティの視点から食の循環やつながりを改めて問い返し、生活者としてどのような行動をとれば、持続可能な食のあり様に繋がるのかを考える機会として、本ワークショップは開催されました。</p> <p>本ワークショップでは、食とSDGsを掛け合わせ、不確実性の高い時代に生きる私たちにとってすべきことは何かを考えました。子ども・若者の視点から、何を問題としてあげ、それらにどのように取り組むことが求められるのかを考え、発表しました。その上で、SDGsのアイコンを街中でよく見掛けるようになった昨今のSDGs未来都市としての名古屋のあり様を考え、参加者全員で自らの足元から考えました。</p> <p>【開催日時・場所】 2022年11月3日 午後1時半から3時半まで 名古屋市立大学滝子(山の畑)キャンパス1号館2階201教室他</p> <p>【スケジュール】 午後1時30分から午後1時40分 開会の挨拶・趣旨説明 午後1時40分から午後1時45分 ワークショップの説明・各会場へ移動 午後1時45分から午後2時35分 高校生・大学生協働ワークショップ 午後2時40分から午後3時20分 全体会 午後3時20分から午後3時30分 開会の挨拶 (SDGsセンター長 薬学研究科教授 林秀敏)</p> <p>【参加校・ゼミ】 (高校生) 名古屋市立菊里高等学校 名古屋市立北高等学校 名古屋市立工芸高等学校 名古屋市立名東高等学校 (大学生) 名古屋市立大学看護学部地域保健看護学ゼミ 名古屋市立大学高等教育院サロングラス (AE: Raise Health/Environmental Awareness) 名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科椎名ゼミ 名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科曾我ゼミ</p>
<p>参加者の声</p>	<p>【高校生】 年齢(高校と大学)の壁、そして国の壁を越えて、自分一人では思いつかないような考えを知ることができました。短い時間の中で濃い内容を扱えたが、欲を言えばもう少しグループワークの時間が欲しかったです。今回、どの班からも「地産地消」というキーワードが出てきて、皆が共通して考えている問題だと実感しました。また、「食」というテーマの元で話し合われた今日ですが、これはSDGsの様々な課題に関係していること、そして世界中に注目されていて人間社会という大きなスケールで考えさせられるテーマであることが分かりました。(=食一つとっているんな事を考えられる。SDGsに関して視野が広がる。)このような貴重な機会を設けて頂き大変嬉しかったです。ありがとうございます。早速、今日家に帰ってから家族に共有し、学校でも発表できるので積極的に得たものを外へと広げていこうと思います。</p> <p>【高校生】 高校の中では聞けないようなお話がたくさん聞くことができたし、食についての知識も深まりました。また今回の大学生の方や初対面の方とグループ活動していくなかで自分にしゃべれる力だったり積極性だったりがあったらもっといろいろな人と交流できたのかなとも思いました。</p> <p>【大学生】 さまざまな分野の視点から食の問題や解決策について考えることができた。名古屋市立の高</p>

	<p>校の生徒さんとも交流することができ、高校生が地産地消や栄養不足の問題に着目した活動に積極的に取り組んでいることを知った。「持続可能な都市名古屋」になるためには、人々が地域の特色やSDGsへの取り組みに目を向け、問題意識を持たなければならないと感じた。「食」という我々の生活に欠かせないことから問題を考えていくことで、一人ひとりが身近にあふれている改善点を見つけやすいと思った。</p> <p>【大学生】「食」というテーマひとつで健康について、多文化について、コンポストについて、伝統野菜についてなどたくさんのテーマに触れられた点がとてもおもしろかったです。一件共通点の見えないたくさんのテーマでも、「たしかにつながるかも!!」「これも同じだ!」とあとから見えてくる共通のポイントがあったこともみんなで楽しむことができました。ふだん触れることのない分野やフレッシュな高校生の取り組みに触れられる良い機会でした。</p>
活動の時期	2022年11月



カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリションに参加



活動の概要	<p>本学は、「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」に参加しました。</p> <p>これは、2021年7月に文部科学省、経済産業省および環境省が先導し、カーボン・ニュートラルに向けた積極的な取り組みを行っている、または取り組みの強化を検討する大学等による情報共有や発信等の場として設立されたものです。</p> <p>5つあるワーキンググループのうち、本学は「人材育成ワーキンググループ」に登録しました。</p> <p>全国の大学等と連携しながら、引き続きカーボンニュートラル達成に向けた取り組みを展開してまいります。</p>
活動の時期	2022年8月以降
関連URL	カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション

SDGs将来世代創造フォーラム2022に参加



<p>活動の概要</p>	<p>本学は、2022年8月24日に吹上ホールで開催された「SDGs将来世代創造フォーラム2022」(アサヒ飲料中部北陸支社主催)に参加しました。当日は、「健康」「環境」「地域共創」をテーマに、産学官から約50のブースが出展されました。</p> <p>本学のブースには、人文社会学部曾我准教授と曾我ゼミの学生3名が参加し、「SDGs達成に向けて自分ができること」を考えるワークショップを行いました。</p> <p>また、本学のSDGsに関する様々な活動について、チラシやパネル等で紹介しました。</p> <p>【ワークショップ参加者の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ自動車ではなく公共交通機関を使う ・異常気象、気候変動を防ぐために、エアコンと扇風機を合わせて使う ・自然災害に備え、防災に取り組む ・海洋プラスチックごみを減らすために、ビニール袋をもらわずにエコバッグをつかう ・貧困や飢餓に苦しむ人たちのためにフードドライブやフェアトレードなどに参加し、問題の解決に寄与する
<p>活動の時期</p>	<p>2022年8月</p>
<p>関連URL</p>	<p>アサヒ飲料中部北陸支社 「SDGs将来世代創造フォーラム2022」</p>



「カーボンニュートラル時代のチェンジ・メーカー養成講座」を開催



活動の概要	<p>2023年2月、本学は「カーボンニュートラル時代のチェンジ・メーカー養成講座」を開催しました。これは、環境省採択事業「教育機関と連携した地域再エネ導入促進及び地域中核人材育成研修」の一環として、経済学研究科の鶴飼教授、徳光助手とSDGsセンターが連携して開催したものです。経済学部及び人文社会学部の学生9名が参加し、再生可能エネルギーの領域で先進的な取り組みを行っている東海地区の企業や地域への視察・フィールドワーク等を行いました。</p> <p>3月には、同じ環境省主催研修に参加している全国15大学の学生との全体交流会が開催され、参加した学生から今回の研修の成果について報告しました。</p>
スケジュール	<p>Day1 (2月7日) :【講義】株式会社ウェストボックス Day2 (2月8日) :【視察&講義】おひさま自然エネルギー株式会社 Day3 (2月14日) :【視察&講義】みなとアクルス、名古屋環境局 Day4 (2月17日) :【グループワーク】中間振り返り Day5 (2月20日) :【フィールドワーク】錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクト Day6 (2月22日) :【フィールドワーク】錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクト Day7 (2月24日) :【グループワーク】最終振り返り</p>
活動の時期	2023年2月



Day2 おひさま自然エネルギー株式会社いなば営農発電所視察



Day3 みなとアクルス視察



Day6 錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクトの方々とのディスカッション



Day7 最終振り返りグループワーク

環境デーなごや2022パートナーシップ事業として地域 美化活動を実施



環境デーなごや2022パートナーシップ事業の一環として、2022年6月3日（金）に桜山（川澄）キャンパス周辺の地域美化活動を行いました。

当日は、生き物との共生・脱炭素社会の実現・循環型社会の構築などをテーマに、それぞれの地域で清掃活動や環境学習などを実施する「地域行事」として、SDGsセンターの林センター長を含む教職員と学生13名が、キャンパス周辺の清掃を行いました。

環境デーなごやの詳細については、以下のサイトをご覧ください。

[「環境デーなごや」のホームページ](#)



SDGs IDEA 研究会を開催



<p>活動の概要</p>	<p>本学は、SDGs達成に向けた名古屋市の地域課題を大学生のアイデアで解決に導く「SDGs IDEA FORUM 2022」を名古屋市と共催しています。この活動の一環として、2022年12月14日に、SDGs IDEA 研究会を開催しました。</p> <p>当日は、SDGs IDEA FORUM 2022にエントリーしている名古屋市内の学生36名が参加しました。賛同企業による企業紹介、SDGs IDEA FORUM 2021最優秀賞受賞チーム（南山大学 ロバートゼミ「フードロス×教育」）によるプレゼンテーションの後、参加学生同士の交流会が行われ、1月15日提出期限のアイデアシート作成に向けた情報交換が行われました。</p> <p>【SDGs IDEA FORUM 2022でアイデアを募集する4つの地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ジェンダー平等を実現する社会づくり ●地域コミュニティが活性化するまちづくり ●サステナブルな観光都市名古屋の実現 ●脱炭素社会をめざすまちづくり
<p>活動の時期</p>	<p>2022年12月</p>
<p>関連URL</p>	<p>SDGs IDEA FORUM 2022 WEBサイト</p>

